

NISMO Communication Magazine **N-BLOOD** 2026 / October No.112 Nissan Motorsports & Customizing Co., Ltd.



N-BLOOD
NISMO Communication Magazine

SAMPLE

N-BLOOD

NISMO Communication Magazine
2026 / October
No. **112**

nismo

Produced by Nissan Motorsports & Customizing Co., Ltd

再会は、エキゾーストノートとともに

2年ぶりにNISMO FESTIVALが帰ってきます

日頃、日産/NISMOを応援してくださる皆さまへの感謝を込めて

お待たせした分まで思い切り楽しんでいただけるよう

準備を進めています

あの歓声を、あの情熱を、もう一度――

私たちも、この場で皆さまに再会できることを

心から楽しみにしています

さあ、心に火を灯して、富士スピードウェイへ



- 4 **2026 SUPER GT SERIES - GT500 CLASS**
真夏の2戦でまさかの苦戦
- 8 **2026 SUPER GT SERIES - GT300 CLASS**
#56 GT-Rがランキング首位浮上
- 10 **FIA Formula E World Championship Season 12**
2連覇を狙ったローランド
ドライバーズランキング4位を獲得
- 14 **2026 SUPER TAIKYU SERIES**
#25 Z NISMO GT4がシーズン2勝目
- 16 **2026 GT WORLD CHALLENGE ASIA**
TEAM 5ZIGENがクラス優勝
- 18 **2026 SUZUKA 1000KM**
3台のGT-Rが3クラスで奮闘
- 20 **MOTORSPORTS**
Paddock TOPICS
- 22 **CIRCUIT GUIDE**
レースウィーク充実“虎の巻”
モビリティリゾートもてぎ編
- 26 **NISMO FESTIVAL at FUJI SPEEDWAY 2026**
会員限定企画を今年も多数設定！
- 30 **SPECIAL IMPRESSION**
高星明誠×日産リーフ NISMO
- 36 **NISMO PRODUCT**
日産リーフ用NISMOパーツ
RB26DETT用カーボン製インタークーラーパイピング
スカイラインGT-R (BCNR33) 用リヤスポイラーオーナメント
- 38 **NISSAN/NISMO COLLABORATION GOODS**
お気に入りのアイテムで楽しい毎日を
- 39 **PRESENT**
読者プレゼント

予選Q1に小雨が、決勝前には本格的な雨が降った第4戦富士だが、路面温度の高さもあり、どのセッションもドライで進行となった。



2026 SUPER GT SERIES GT500 CLASS

真夏の2戦でまさかの苦戦

23号車が鈴鹿で4位に入り、シリーズ後半戦に望みをつなぐ

第2戦富士から3カ月間を空けて行われた8月の富士
続く鈴鹿も8月中にレースが開催され、猛暑のなか限界に挑んだ

2026年のSUPER GTは、5月4日（月・祝）に静岡県の富士スピードウェイで行われた第2戦の後、本来であれば6月にマレーシアのセパン・インターナショナル・サーキットで第3戦が予定されていたが、中東情勢の影響で延期となったことで、富士スピードウェイでの第4戦まで3カ月間のインターバルがあった。その間に季節は春から真夏となり、気温、路面温度とも大きく変化。8月1日（土）に予選日を迎えた第4戦は、同じ富士でもまったく様相が異なる一戦となった。なお、このレースウィーク中にシリーズをブ

ロモートするGTアソシエーションから、延期された第3戦は11月に開催される第8戦もてぎのレースウィークを使って行われることが発表されている。

**炎天下でのレースは波乱のスタート
Zは想定外の苦戦を強いられる**

8月1日（土）午前10時30分、公式練習の開始とともに第4戦の戦いが幕を開けた。気温31度／路面温度44度という暑さのなかで行われた公式練習で、NISSAN Z NISMO GT500は

#23 MOTUL Niterra Z（千代勝正／高星明誠）が6番手に。#12 TRS IMPUL with SDG Z（平峰一貴／ベルトラン・バゲット）が僅差で7番手。#24 リアライズコーポレーション Z（名取鉄平／三宅淳詞）は14番手でセッションを終えた。

気温32度／路面温度45度という暑さのなか、午後2時53分から始まった公式予選は、雲が広がりほんのわずかに雨が舞う不安定なコンディションとなった。僅差の争いのなか、日産勢は#23 Zの高星が6番手でQ1を突破。バゲットがアタックを担当した#12 Zは9番手につけ、